

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 2月

令和6年2月1日の推計人口 1,262,239人  
世帯数 557,787世帯  
参考：R2.10.1 現在国勢調査総人口：1,312,317人、  
世帯数：558,230世帯

### 1 推計人口

令和6年2月1日現在の推計人口は、1,262,239人で、前月(1,263,819)に比べ1,580人の減少となった。

市部では、大村市(18)の1市で増加し、佐世保市(466)、長崎市(404)、南島原市(86)、五島市(75)、諫早市(73)、雲仙市(71)、対馬市(56)、島原市(52)、松浦市(46)、壱岐市(38)、平戸市(28)、西海市(18)の12市で減少した。

郡部では、波佐見町(7)の1町で増加し、長与町(41)、時津町(40)、新上五島町(32)、川棚町(27)、佐々町(25)、東彼杵町(24)、小値賀町(3)の7町で減少した。

自然動態は、出生数584人、死亡数1,961人で1,377人の減少、社会動態は、転入者数2,584人(県内転入を含む)、転出者2,787人(県内転出を含む)で、203人の減少となった。

### 2 世帯数

令和6年2月1日現在の世帯数は、557,787世帯で前月(558,240)に比べ453世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計 = R2 国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】… 12月

1人当たり現金給与総額 501,131円  
対前月比 88.3%増加  
対前年同月比 1.3%増加

### 1 賃金

12月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は501,131円で、前月に比べ88.3%増加し、前年同月に比べ1.3%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は244,451円で、前月に比べ1.0%減少し、前年同月に比べ1.1%減少した。

特別給与額は256,680円で、前年同月に比べ、9,045円増加した。

### 2 労働時間

12月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は145.9時間で、前月に比べ1.5%減少し、前年同月に比べ0.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は134.8時間で前月に比べ1.4%減少し、前年同月と比べ、0.1%増加した。

所定外労働時間数は11.1時間で、前月に比べ2.7%減少、前年同月に比べ4.3%減少した。

### 3 雇用

12月の常用労働者数は205,530人で、前月に比べ、2.8%減少し、前年同月に比べ3.0%減少した。

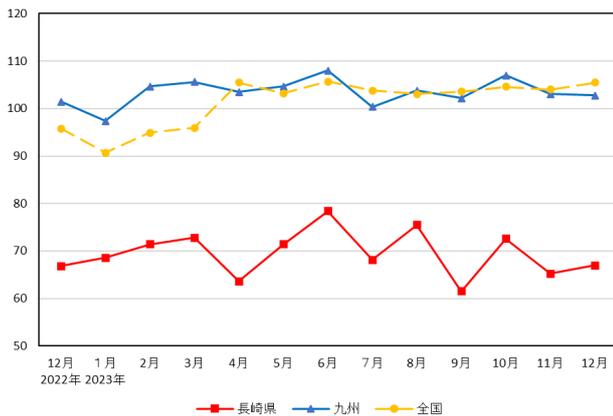
【鋳工業生産指数】……………12月

令和5年12月の鋳工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	調整指数	前月比(%)		
長崎県	67.0	2.8	73.2	1.5
九州	102.8	0.4	106.7	0.1
全国	105.5	1.4	106.5	1.0

鋳工業生産指数の推移【季節調整指数】



2023年12月の鋳工業生産指数は、季節調整指数が67.0で対前月比は2.8%の上昇、原指数は73.2で対前年同月比は1.5%の上昇となった。

業種別にみると、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業、電子部品・デバイス工業など7業種が上昇し、電気機械工業、食料品工業、繊維工業など6業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
輸送機械工業	16.2	修繕船
はん用・生産用機械工業	3.5	蒸気タービンの部品・付属品
電子部品・デバイス工業	1.8	半導体集積回路

主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	43.6	交流発電機
食料品工業	10.9	その他の調味料
繊維工業	7.4	漁網・陸上網

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………1月

総合指数(R2=100) 106.6  
 対前月比 ±0.0%  
 対前年同月比 2.3%上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、106.6で前月と同水準であった。

主な上昇要因は「家具・家事用品」が1.5%の上昇、「住居」が0.2%の上昇であった。

主な下落要因は「被服及び履物」が3.2%の下落、「食料」が0.1%の下落であった。

前年同月比は、9月は2.9%上昇、10月は3.2%上昇、11月は2.7%の上昇、12月は2.7%の上昇と推移した後、1月は2.3%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は106.1で前月と同水準であり、前年同月比は2.1%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

家具・家事用品	1.5%
住居	0.2%
光熱・水道	0.1%
教育	0.1%

同水準の費目

諸雑費	±0.0%
-----	-------

下落した費目

被服及び履物	3.2%
食料	0.1%
保健医療	0.1%
交通・通信	0.1%
教養娯楽	0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………1月

消費支出(一世帯当たり) 317,072円  
 前月比 77,173円減少(19.6%)

令和6年1月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は317,072円で、前月比19.6%の減少、前年同月比は1.9%の増加であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は79.1%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。